

■ベトナムでバイオマス利活用を進めるための現地調査

ーパイロットプラント建設予定地付近においてー

このプロジェクトは、東京大学生産技術研究所（日本側代表）、東京大学農学部、農村工学研究所の3つの日本側研究機関と、ホーチミン市工科大学（ベトナム側代表）、熱帯生物学研究所、ホーチミン市科学技術部、ハノイ工科大学の4つのベトナム側機関の共同により、ベトナム南部において持続可能な地域農業・バイオマス産業の融合を提案・検証することを目標としています。

農工研はこの中で、バイオマス利活用が農業と環境へ及ぼす影響の解析を担当しています。

今回は、バイオガスとバイオエタノールを生産するパイロットプラント建設予定地の村において、河川および水路の水、地下水、土の現場調査およびサンプリングを行いました。

- ・河川水の現場測定の様子です。
(左から2番目が折立)。
- ・pH、EC、DOを測っています。



- ・この時期ベトナムは雨季に当たるので、当日は良い（良すぎる？）
天気に恵まれました。



- ・左写真は酪農家、右は浄水場兼
配水施設の地下水調査の様子です。

